

# 第 107 回九州の経営動向調査

1. 調査要領
2. 要約
3. 景況動向
4. 設備投資動向
5. 雇用動向(採用状況)
6. 経営上の問題点
7. 経営に関する調査結果

(参考資料 1) : 九州の主要経済指標 (消費関係)

(参考資料 2) : 当行調査と他機関との比較推移表

※ 当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。

2018 年 7 月 20 日

**西日本シティ銀行**

**NCBリサーチ&コンサルティング**

# 九州の経営動向調査

## 1. 調査要領

(1) 調査対象 当行の主要取引先 661 社（今回の回答社数 357 社 回答率 54.0%）

① 地域別回答企業（単位：社）

|          |     |        |
|----------|-----|--------|
| 福岡県      | 302 | 84.6%  |
| 福岡市及び近郊  | 172 | 48.2%  |
| 北九州市及び近郊 | 80  | 22.4%  |
| 筑後地区     | 36  | 10.1%  |
| 筑豊地区     | 14  | 3.9%   |
| 福岡県外九州各県 | 55  | 15.4%  |
| 熊本県      | 5   | 1.4%   |
| 大分県      | 19  | 5.3%   |
| 宮崎県      | 13  | 3.7%   |
| 佐賀県      | 7   | 2.0%   |
| 長崎県      | 8   | 2.2%   |
| 鹿児島県     | 3   | 0.8%   |
| 合計       | 357 | 100.0% |

② 業種別回答企業（単位：社）

|         |     |        |
|---------|-----|--------|
| 製造業     | 97  | 27.2%  |
| 食料品     | 25  | 7.0%   |
| 家具      | 4   | 1.1%   |
| 窯業・土石   | 8   | 2.3%   |
| 金属・機械器具 | 39  | 10.9%  |
| その他製造   | 21  | 5.9%   |
| 非製造業    | 260 | 72.8%  |
| 建設      | 57  | 16.0%  |
| 卸小売     | 111 | 31.1%  |
| 食料飲料    | 27  | 7.6%   |
| 機械器具    | 8   | 2.2%   |
| 建材      | 17  | 4.8%   |
| 総合スーパー  | 12  | 3.3%   |
| その他     | 47  | 13.2%  |
| 不動産     | 14  | 3.9%   |
| 運輸通信    | 23  | 6.4%   |
| サービス    | 55  | 15.4%  |
| 全産業     | 357 | 100.0% |

③ 規模別（資本金別）回答企業（単位：社）

|                   |     |        |
|-------------------|-----|--------|
| 大企業（10億円以上）       | 29  | 8.1%   |
| 中堅企業（1億円以上10億円未満） | 49  | 13.7%  |
| 中小企業（1億円未満）       | 279 | 78.2%  |
| 合計                | 357 | 100.0% |

(2) 調査方法 アンケート方式

(3) 調査時期 2018年6月1日

(4) 調査事項 ① 景況動向

I 企業の景況感（業績総合判断） II 売上高 III 収益（経常利益ベース）  
IV 資金繰り V 商品在庫

② 設備投資動向 ③ 雇用動向（採用状況） ④ 経営上の問題点

⑤ 経営に関する調査

I 個人消費

※景況動向は、BSI方式で表示

BSI とは、「好転・増加・上昇」（前年同期比）の企業割合から「悪化・減少・下落」の企業割合を差し引いた指標。

## 2. 要約

### (1) 景況動向

- ① 景況感の2018年4～6月期実績は、全産業で3.4と、前回調査に比べ5.3ポイント悪化している。製造業では10.3と、前回調査に比べ8.8ポイント悪化し、非製造業では0.7と、前回調査に比べ4.1ポイント悪化している。
- ② 売上高の2018年4～6月期実績は、全産業で3.3と、前回調査に比べ8.4ポイント悪化している。製造業では15.5と、前回調査に比べ5.7ポイント悪化し、非製造業では▲1.1と、前回調査に比べ9.3ポイント悪化している。
- ③ 収益の2018年4～6月期実績は、全産業で▲1.1と、前回調査に比べ3.6ポイント悪化している。製造業では0.0と、前回調査に比べ9.1ポイント悪化し、非製造業では▲1.5と、前回調査に比べ1.5ポイント悪化している。
- ④ 資金繰りの2018年4～6月期実績は、全産業で2.8と、前回調査に比べ2.9ポイント悪化している。製造業では2.1と、前回調査に比べ1.0ポイント悪化し、非製造業では3.1と、前回調査に比べ3.5ポイント悪化している。
- ⑤ 商品在庫の2018年4～6月期実績は、全産業で▲3.7と、前回調査の0.3の「不足」超から「過大」超となった。製造業では▲1.1と、前回調査の「不足」超から「過大」超となり、非製造業では▲4.7と、前回調査に比べ「過大」超幅が拡大している。

### (2) 設備投資動向

2018年度の設備投資見通しは、全産業で前年度比13.8%増加している。業種別にみると、製造業では、前年度比32.0%増加し、非製造業では、前年度比7.1%減少している。

設備投資見通しの内容については、製造業、非製造業ともに建物の占める割合が高く になっている。

設備投資見通しの目的については、製造業では能力拡大の占める割合が高く、非製造業では機械更新の占める割合が高くなっている。

### (3) 雇用動向(採用状況)

2018年度の採用見通しは、全産業で前年度比▲8.8%減少している。業種別にみると、製造業では、前年度比16.4%減少し、非製造業では、前年度比6.8%減少している。

2019年度の採用計画は、全産業で前年度比6.7%減少している。業種別にみると、製造業では、前年度比19.0%減少し、非製造業では、前年度比3.8%減少している。

2018年度の採用見通しの内訳を見ると、新卒者が前年度比増加、中途採用・パートが前年度比減少している。

### (4) 経営上の問題点

「従業員対策」を挙げる企業が最も多く、次いで「他企業との競争激化」となっている。

## (5) 個人消費の動向

『現在の個人消費』について、今回調査では、全産業で「良い」と回答した企業が28%であるのに対し、「悪い」と回答した企業は16%となっている。これを前回調査との比較で見ると、「良い」が28%で横這い、「悪い」が16%で横這いであり、『現在の個人消費』は前回調査時点から横這いとなっている。

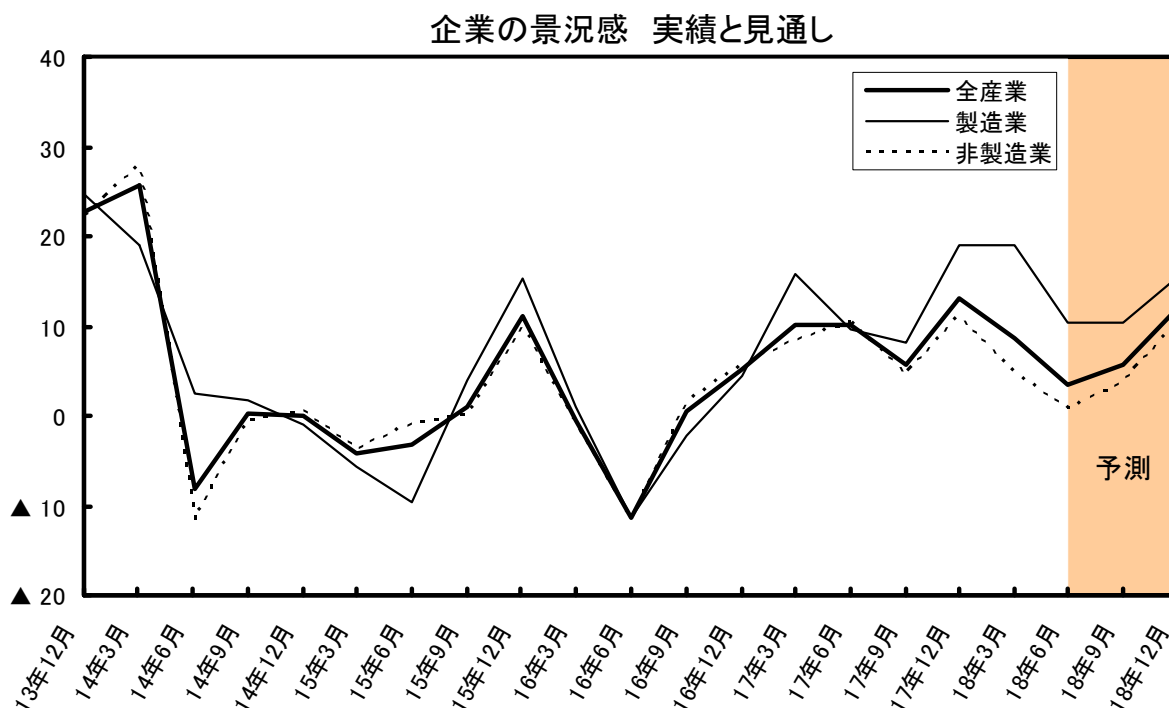
『先行き3か月後の個人消費』について、今回調査では、全産業で「好転」と回答した企業が22%であるのに対し、「悪化」と回答した企業は12%となっている。これを前回調査との比較で見ると、「好転」するが22%で横這い、「悪化」するが11%から1ポイント増加しており、『先行き3か月後の個人消費』は前回調査時点より悪化している。

### 3. 景況動向

#### (1) 企業の景況感(業績総合判断) B S I (「好転」-「悪化」)

(単位：%ポイント)

| 業種   | 18/1~3 | 18/4~6 |      | 18/7~9 |      | 18/10~12 |
|------|--------|--------|------|--------|------|----------|
|      | 実績     | 実績     | 前回予測 | 見通し    | 前回予測 | 見通し      |
| 製造業  | 19.1   | 10.3   | 14.2 | 10.3   | 18.2 | 15.5     |
| 非製造業 | 4.8    | 0.7    | 7.8  | 3.8    | 7.8  | 10.7     |
| 全産業  | 8.7    | 3.4    | 9.5  | 5.6    | 10.6 | 12.1     |



#### ① 景況感の全産業の実績と見通し

景況感の2018年4~6月期実績は、全産業で3.4と、前回調査に比べ5.3ポイント悪化している。

先行き2018年7~9月期については、「好転」超幅が拡大し、2018年10~12月期については、さらに「好転」超幅が拡大する見通しである。

前回予測と比較すると、全産業の2018年4~6月期実績は、6.1ポイント悪化し、先行き2018年7~9月期については、5.0ポイント悪化している。

#### ② 2018年4~6月期の業種別実績

製造業では、「食料品」で改善、「窯業・土石」、「金属・機械器具」・「その他製造」で悪化し、全体では10.3と、前回調査に比べ8.8ポイント悪化している。

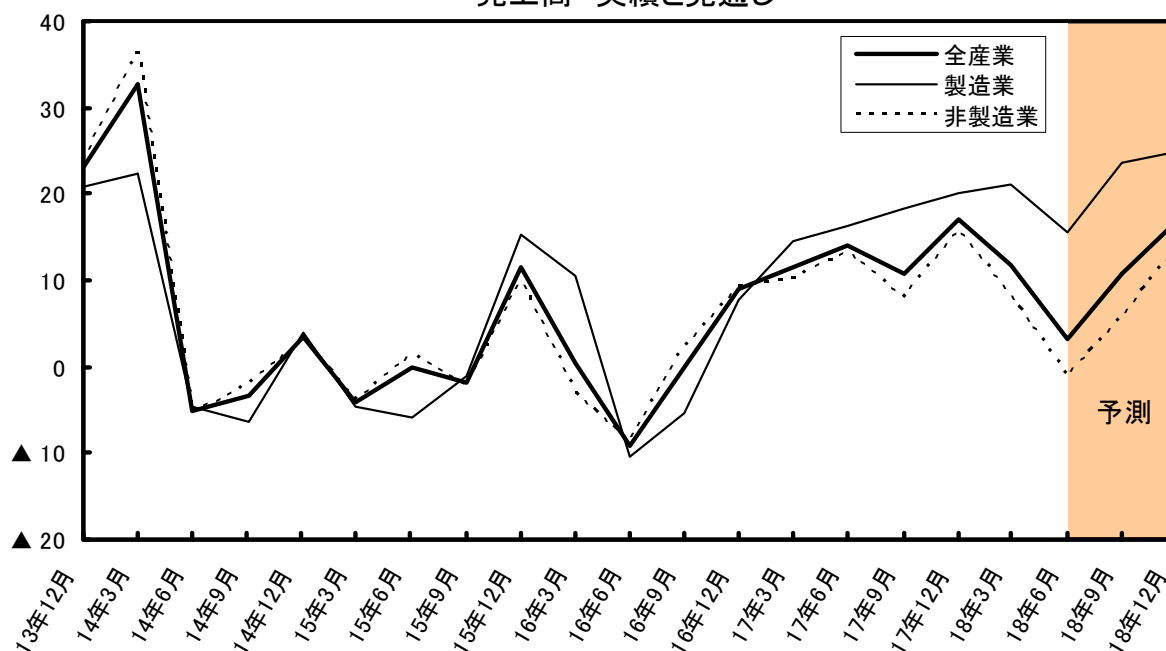
非製造業では、「不動産」、「運輸通信」で改善、「建設」、「卸小売」、「サービス」で悪化し、全体では0.7と、前回調査に比べ4.1ポイント悪化している。

## (2) 売上高BSI（「増加」－「減少」）

（単位：％ポイント）

| 業種   | 18/1～3 | 18/4～6 |      | 18/7～9 |      | 18/10～12 |
|------|--------|--------|------|--------|------|----------|
|      | 実績     | 実績     | 前回予測 | 見通し    | 前回予測 | 見通し      |
| 製造業  | 21.2   | 15.5   | 19.2 | 23.7   | 16.1 | 24.8     |
| 非製造業 | 8.2    | ▲ 1.1  | 8.1  | 5.7    | 5.9  | 13.9     |
| 全産業  | 11.7   | 3.3    | 11.1 | 10.7   | 8.6  | 16.8     |

売上高 実績と見通し



### ① 売上高の全産業の実績と見通し

売上高の2018年4～6月期実績は、全産業で3.3と、前回調査に比べ8.4ポイント悪化している。

先行き2018年7～9月期については、「増加」超幅が拡大し、2018年10～12月期については、さらに「増加」超幅が拡大する見通しである。

前回予測と比較すると、全産業の2018年4～6月期実績は、7.8ポイント悪化し、先行き2018年7～9月期については、2.1ポイント改善している。

### ② 2018年4～6月期の業種別実績

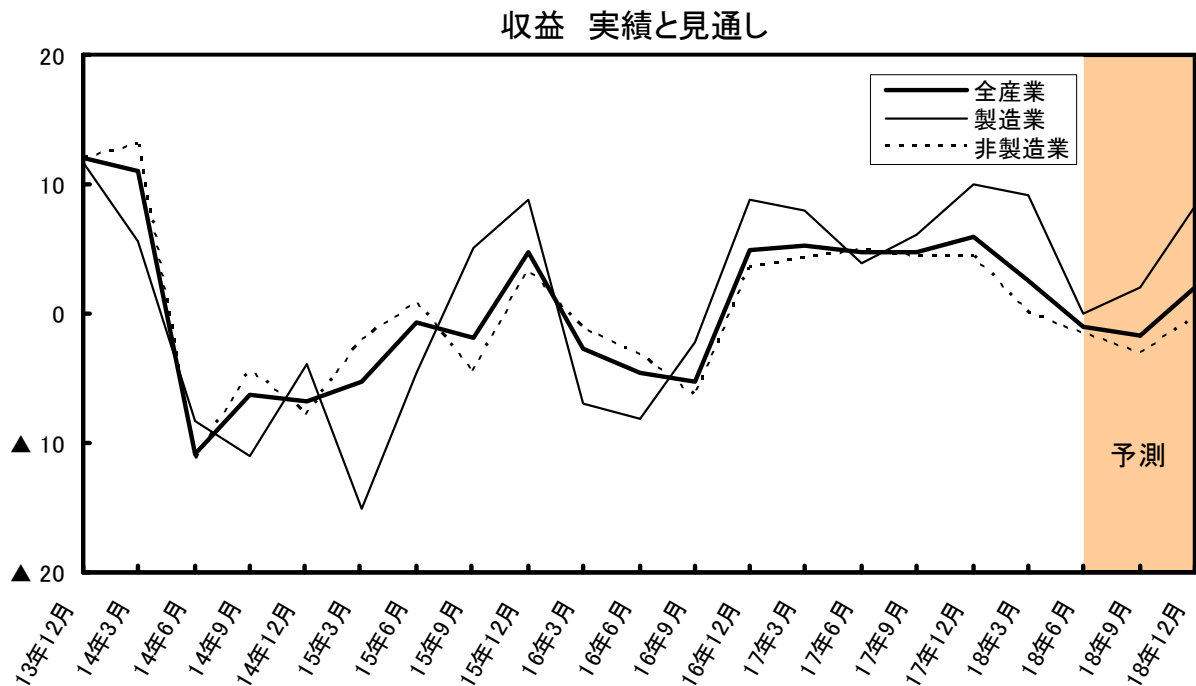
製造業では、「食料品」、「その他製造」で改善、「窯業・土石」、「金属・機械器具」で悪化し、全体では15.5と、前回調査に比べ5.7ポイント悪化している。

非製造業では、「卸小売」、「運輸通信」で改善、「建設」、「不動産」、「サービス」で悪化し、全体では▲1.1と、前回調査に比べ9.3ポイント悪化している。

(3) 収益(経常利益ベース) B S I (「増加」-「減少」)

(単位：%ポイント)

| 業種   | 18/1~3 |       | 18/4~6 |       | 18/7~9 |       | 18/10~12 |
|------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|----------|
|      | 実績     | 実績    | 前回予測   | 見通し   | 前回予測   | 見通し   |          |
| 製造業  | 9.1    | 0.0   | 10.1   | 2.0   | 10.1   | 8.3   |          |
| 非製造業 | 0.0    | ▲ 1.5 | 4.1    | ▲ 3.1 | 3.7    | ▲ 0.4 |          |
| 全産業  | 2.5    | ▲ 1.1 | 5.7    | ▲ 1.7 | 5.4    | 2.0   |          |



① 収益の全産業の実績と見通し

収益の2018年4~6月期実績は、全産業で▲1.1と、前回調査に比べ3.6ポイント悪化している。

先行き2018年7~9月期については、「減少」超幅が拡大し、2018年10~12月期については、「増加」超に転じる見通しである。

前回予測と比較すると、全産業の2018年4~6月期実績は、6.8ポイント悪化し、先行き2018年7~9月期については、7.1ポイント悪化している。

② 2018年4~6月期の業種別実績

製造業では、「食料品」で改善、「窯業・土石」、「金属・機械器具」、「その他製造」で悪化し、全体では0.0と、前回調査に比べ9.1ポイント悪化している。

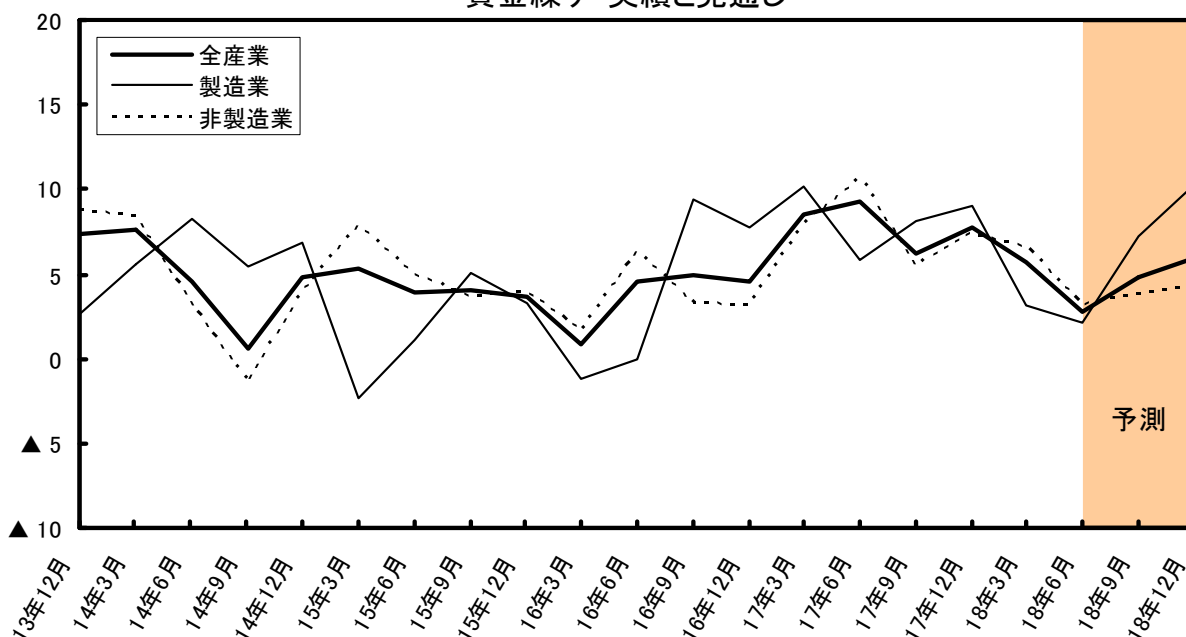
非製造業では、「建設」、「不動産」、「運輸通信」で改善、「卸小売」、「サービス」で悪化し、全体では▲1.5と、前回調査に比べ1.5ポイント悪化している。

#### (4) 資金繰りBSI（「好転」－「悪化」）

（単位：％ポイント）

| 業種   | 18/1～3 | 18/4～6 |      | 18/7～9 |      | 18/10～12 |
|------|--------|--------|------|--------|------|----------|
|      | 実績     | 実績     | 前回予測 | 見通し    | 前回予測 | 見通し      |
| 製造業  | 3.1    | 2.1    | 4.1  | 7.2    | 7.1  | 10.3     |
| 非製造業 | 6.6    | 3.1    | 7.4  | 3.8    | 7.1  | 4.3      |
| 全産業  | 5.7    | 2.8    | 6.5  | 4.8    | 7.1  | 5.9      |

資金繰り 実績と見通し



##### ① 資金繰りの全産業の実績と見通し

資金繰りの2018年4～6月期実績は、全産業で2.8と、前回調査に比べ2.9ポイント悪化している。

先行き2018年7～9月期については、「好転」超幅が拡大し、2018年10～12月期については、さらに「好転」超幅が拡大する見通しである。

前回予測と比較すると、全産業の2018年4～6月期実績は、3.7ポイント悪化し、先行き2018年7～9月期については、2.3ポイント悪化している。

##### ② 2018年4～6月期の業種別実績

製造業では、「食料品」で改善、「窯業・土石」、「金属・機械器具」、「その他製造」で悪化し、全体では2.1と、前回調査に比べ1.0ポイント悪化している。

非製造業では、「建設」、「卸小売」、「不動産」、「運輸通信」、「サービス」の全業種で悪化し、全体では3.1と、前回調査に比べ3.5ポイント悪化している。

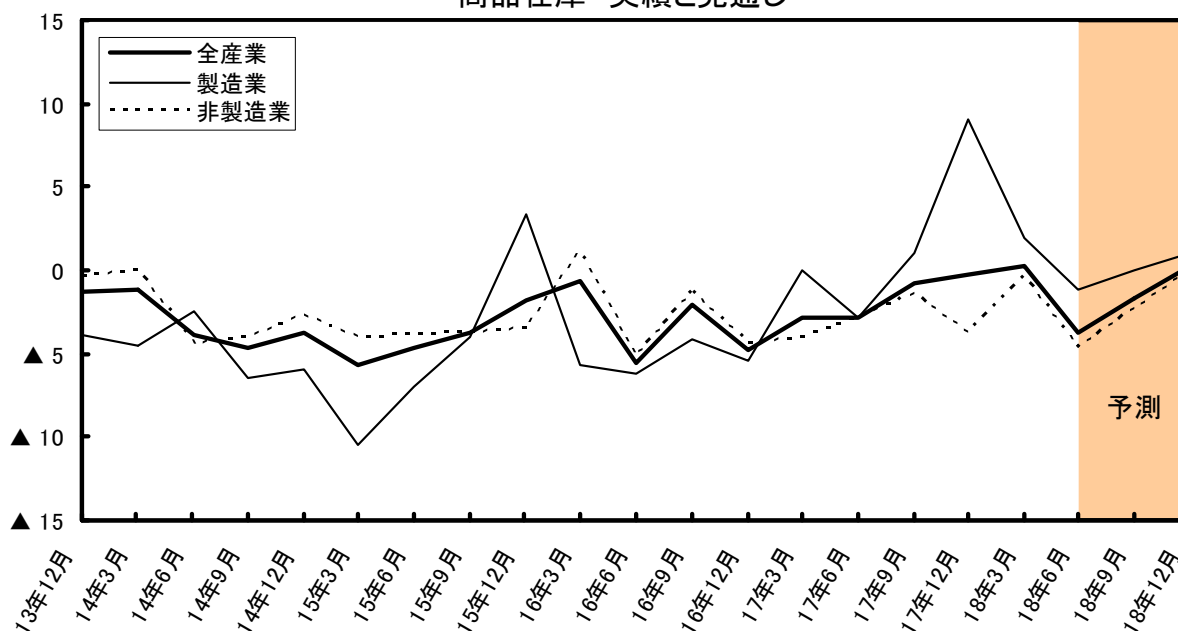


(5) 商品在庫BSI（「不足」－「過大」）

（単位：％ポイント）

| 業種   | 18/1～3 |       | 18/4～6 |       | 18/7～9 |     | 18/10～12 |
|------|--------|-------|--------|-------|--------|-----|----------|
|      | 実績     | 実績    | 前回予測   | 見通し   | 前回予測   | 見通し |          |
| 製造業  | 2.0    | ▲ 1.1 | 0.0    | 0.0   | 1.0    | 1.0 |          |
| 非製造業 | ▲ 0.4  | ▲ 4.7 | 0.0    | ▲ 2.3 | ▲ 0.8  | 0.0 |          |
| 全産業  | 0.3    | ▲ 3.7 | 0.0    | ▲ 1.7 | ▲ 0.3  | 0.2 |          |

商品在庫 実績と見通し



① 商品在庫の全産業の実績と見通し

商品在庫の2018年4～6月期実績は、全産業で▲3.7と、前回調査の0.3の「不足」超から「過大」超となった。

先行き2018年7～9月期については、「過大」超幅が縮小、2018年10～12月期については、「過大」超から「不足」超になる見通しである。

前回予測と比較すると、全産業の2018年4～6月期実績は、0.0の「均衡」から3.7ポイントの「過大」超に、先行き2018年7～9月期については、「過大」超幅が▲0.3から▲1.7に拡大している。

② 2018年4～6月期の業種別実績

製造業では、「食料品」で「不足」超幅が縮小し、「窯業・土石」で「不足」超から「均衡」となり、「金属・機械器具」で「均衡」から「過大」超となり、「その他製造」が「過大」超で「横這い」となり、全体では▲1.1と、前回調査の「不足」超から「過大」超となった。

非製造業では、「建設」で「不足」超から「過大」超となり、「卸小売」で「過大」超幅が拡大し、「不動産」で「均衡」から「過大」超となり、「運輸通信」が「均衡」で横這い、「サービス」で「不足」超幅が縮小し、全体では▲4.7と、前回調査に比べ「過大」超幅が拡大している。

## 4. 設備投資動向

### (1) 設備投資額

(単位：百万円)

|         | 設備投資       |             |          |
|---------|------------|-------------|----------|
|         | 17年度<br>実績 | 18年度<br>見通し | 17年度比    |
|         |            |             |          |
| 製造業     | 80,930     | 106,789     | +32.0%   |
| 食料品     | 13,145     | 5,383       | ▲59.0%   |
| (家具)    | 100        | 1,530       | +1430.0% |
| 窯業・土石   | 38,357     | 59,025      | +53.9%   |
| 金属・機械器具 | 26,801     | 36,347      | +35.6%   |
| その他製造   | 2,527      | 4,504       | +78.2%   |
| 非製造業    | 69,981     | 65,020      | ▲7.1%    |
| 建設      | 2,352      | 3,010       | +28.0%   |
| 卸小売     | 28,608     | 27,940      | ▲2.3%    |
| 食料飲料    | 11,257     | 12,404      | +10.2%   |
| 機械器具    | 313        | 490         | +56.5%   |
| 建材      | 679        | 452         | ▲33.4%   |
| 総合スーパー  | 10,482     | 9,088       | ▲13.3%   |
| その他     | 5,877      | 5,506       | ▲6.3%    |
| 不動産     | 2,786      | 5,140       | +84.5%   |
| 運輸通信    | 7,387      | 6,316       | ▲14.5%   |
| サービス    | 28,848     | 22,614      | ▲21.6%   |
| 全産業     | 150,911    | 171,809     | +13.8%   |

- ・ 2018年度の設備投資見通しは、全産業で前年度比13.8%増加している。業種別にみると、製造業では、前年度比32.0%増加し、非製造業では、前年度比7.1%減少している。

### (2) 2018年度の設備投資の内容、目的

(単位：%)

|          | 設備投資の内容 |      |      |      |      |       | 設備投資の目的 |      |      |      |      |      |       |
|----------|---------|------|------|------|------|-------|---------|------|------|------|------|------|-------|
|          | 土地      | 建物   | 機械装置 | 車両等  | その他  | 合計    | 能力拡大    | 省力化  | 機械更新 | 新規事業 | 研究開発 | その他  | 合計    |
| 製造業      | 1.3     | 71.9 | 9.0  | 0.4  | 17.4 | 100.0 | 40.0    | 14.2 | 22.2 | 1.4  | 18.2 | 4.0  | 100.0 |
| 食料品      | 1.7     | 24.9 | 65.8 | 3.2  | 4.3  | 100.0 | 20.1    | 18.8 | 56.9 | 0.6  | 0.3  | 3.3  | 100.0 |
| (家具)     | 29.4    | 68.6 | 2.0  | 0.0  | 0.0  | 100.0 | 98.0    | 0.0  | 0.0  | 2.0  | 0.0  | 0.0  | 100.0 |
| 窯業・土石    | 0.0     | 69.5 | 0.6  | 0.1  | 29.7 | 100.0 | 29.8    | 19.8 | 20.6 | 0.0  | 29.7 | 0.1  | 100.0 |
| 金属・機械器具  | 1.5     | 88.7 | 9.0  | 0.4  | 0.4  | 100.0 | 57.9    | 5.5  | 19.5 | 2.4  | 5.0  | 9.7  | 100.0 |
| その他製造業   | 6.8     | 23.9 | 53.5 | 0.2  | 15.6 | 100.0 | 34.0    | 10.5 | 29.9 | 12.2 | 1.1  | 12.3 | 100.0 |
| 非製造業     | 5.1     | 45.4 | 28.6 | 10.1 | 10.8 | 100.0 | 33.9    | 12.5 | 39.1 | 1.6  | 0.1  | 12.8 | 100.0 |
| 建設業      | 6.2     | 39.7 | 34.7 | 5.2  | 14.2 | 100.0 | 10.5    | 1.4  | 60.9 | 0.2  | 0.3  | 26.8 | 100.0 |
| 卸小売業     | 5.6     | 60.8 | 26.4 | 2.3  | 4.9  | 100.0 | 38.9    | 24.0 | 28.5 | 1.0  | 0.0  | 7.6  | 100.0 |
| 食料飲料卸    | 1.2     | 81.2 | 11.9 | 3.5  | 2.3  | 100.0 | 32.8    | 49.0 | 7.7  | 0.5  | 0.0  | 10.1 | 100.0 |
| 機械器具卸    | 6.1     | 67.2 | 16.5 | 3.3  | 6.9  | 100.0 | 12.2    | 6.9  | 80.4 | 0.0  | 0.0  | 0.4  | 100.0 |
| 建材卸      | 2.2     | 38.1 | 44.9 | 14.4 | 0.4  | 100.0 | 9.5     | 5.5  | 58.6 | 6.6  | 0.0  | 19.7 | 100.0 |
| (総合スーパー) | 15.2    | 36.0 | 48.0 | 0.0  | 0.8  | 100.0 | 44.5    | 5.4  | 48.6 | 0.8  | 0.0  | 0.6  | 100.0 |
| その他      | 0.0     | 57.2 | 22.7 | 2.4  | 17.8 | 100.0 | 48.1    | 1.3  | 35.3 | 1.9  | 0.0  | 13.4 | 100.0 |
| 不動産業     | 7.8     | 77.1 | 13.2 | 0.2  | 1.7  | 100.0 | 64.5    | 0.2  | 21.5 | 13.8 | 0.0  | 0.1  | 100.0 |
| 運輸通信業    | 14.7    | 22.7 | 20.5 | 32.5 | 9.5  | 100.0 | 35.0    | 1.4  | 56.2 | 0.6  | 0.0  | 6.8  | 100.0 |
| サービス業    | 1.1     | 26.4 | 36.2 | 16.4 | 19.9 | 100.0 | 23.5    | 5.6  | 48.5 | 0.2  | 0.4  | 21.8 | 100.0 |
| 全産業      | 2.8     | 61.9 | 16.4 | 4.1  | 14.9 | 100.0 | 37.7    | 13.6 | 28.6 | 1.5  | 11.4 | 7.3  | 100.0 |

- ・ 設備投資見通しの内容については、製造業、非製造業ともに建物の占める割合が高くなっている。
- ・ 設備投資見通しの目的については、製造業では能力拡大の占める割合が高く、非製造業では機械更新の占める割合が高くなっている。

## 5. 雇用動向（採用状況）

### (1) 採用状況

【参考】  
(単位：人) (前年同時期)

|               | 17年度<br>実績 | 18年度<br>見通し | 19年度   |       | 18年度計画<br>(17年度比) |
|---------------|------------|-------------|--------|-------|-------------------|
|               |            |             | 計画     | 18年度比 |                   |
| 製 造 業         | 1,174      | 981         | ▲16.4% | 795   | ▲15.4%            |
| 食 料 品         | 342        | 259         | ▲24.3% | 179   | ▲29.2%            |
| ( 家 具 )       | 24         | 33          | +37.5% | 33    | +14.8%            |
| 窯 業 ・ 土 石     | 247        | 267         | +8.1%  | 260   | +3.1%             |
| 金 属 ・ 機 械 器 具 | 441        | 333         | ▲24.5% | 253   | ▲14.1%            |
| そ の 他 製 造     | 120        | 89          | ▲25.8% | 70    | ▲42.2%            |
| 非 製 造 業       | 4,458      | 4,154       | ▲6.8%  | 3,997 | +0.2%             |
| 建 設           | 284        | 210         | ▲26.1% | 269   | +5.9%             |
| 卸 小 売         | 1,436      | 1,095       | ▲23.7% | 801   | ▲19.7%            |
| 食料・飲料         | 383        | 220         | ▲42.6% | 124   | ▲25.3%            |
| 機械器具          | 26         | 25          | ▲3.8%  | 16    | ▲47.4%            |
| 建材            | 63         | 64          | +1.6%  | 48    | ▲16.4%            |
| (総合スーパー)      | 603        | 375         | ▲37.8% | 187   | ▲32.9%            |
| その他           | 361        | 411         | +13.9% | 426   | +15.8%            |
| 不 動 産         | 43         | 28          | ▲34.9% | 24    | ▲54.8%            |
| 運 輸 通 信       | 650        | 765         | +17.7% | 778   | +29.4%            |
| サ ー ビ ス       | 2,045      | 2,056       | +0.5%  | 2,125 | +4.0%             |
| 全 産 業         | 5,632      | 5,135       | ▲8.8%  | 4,792 | ▲1.5%             |

- ・ 2018年度の採用見通しは、全産業で前年度比▲8.8%減少している。業種別にみると、製造業では、前年度比16.4%減少し、非製造業では、前年度比6.8%減少している。
- ・ 2019年度の採用計画は、全産業で前年度比6.7%減少している。業種別にみると、製造業では、前年度比19.0%減少し、非製造業では、前年度比3.8%減少している。

### (2) 採用の内訳

【参考】  
(前年同時期)

|         | 17年度実績<br>(16年度比) | 18年度見通し<br>(17年度比) | 19年度計画<br>(18年度比) | 18年度計画<br>(17年度比) |
|---------|-------------------|--------------------|-------------------|-------------------|
| 全 体     | +4.4%             | ▲8.8%              | ▲6.7%             | ▲1.5%             |
| 新 卒 者   | +16.5%            | +10.2%             | ▲0.8%             | +5.1%             |
| 中 途 採 用 | +11.6%            | ▲20.4%             | ▲16.6%            | ▲6.2%             |
| パ ー ト   | ▲1.8%             | ▲13.1%             | ▲5.6%             | ▲1.8%             |

- ・ 2018年度の採用見通しの内訳を見ると、新卒者が前年度比増加、中途採用・パートが前年度比減少している。

## 6. 経営上の問題点

当面の経営上の問題点(複数回答)

(単位：%)

|            | 29/03 | 29/06 | 29/09 | 29/12 | 30/03 | 30/06 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 従業員対策      | 58 ①  | 59 ①  | 57 ①  | 64 ①  | 65 ①  | 59 ①  |
| 他企業との競争激化  | 44 ②  | 43 ②  | 39 ②  | 36 ②  | 33 ②  | 36 ②  |
| 人件費上昇      | 26 ③  | 29 ③  | 29 ③  | 30 ③  | 30 ③  | 32 ③  |
| 原材料値上り     | 20 ⑤  | 23 ⑤  | 21 ⑤  | 25 ④  | 29 ④  | 30 ④  |
| 売上不振       | 25 ④  | 28 ④  | 23 ④  | 24 ⑤  | 18 ⑤  | 24 ⑤  |
| 設備能力不足     | 6 ⑧   | 8 ⑦   | 9 ⑥   | 8 ⑦   | 8 ⑥   | 8 ⑥   |
| 為替相場       | 8 ⑥   | 5 ⑧   | 6 ⑧   | 4 ⑧   | 4 ⑧   | 6 ⑦   |
| 製品価格低下     | 7 ⑦   | 10 ⑥  | 8 ⑦   | 8 ⑥   | 5 ⑦   | 5 ⑧   |
| 資金繰り悪化     | 3 ⑪   | 4 ⑩   | 2 ⑪   | 3 ⑩   | 4 ⑨   | 4 ⑨   |
| 技術水準おくれ    | 4 ⑩   | 2 ⑫   | 2 ⑪   | 2 ⑫   | 2 ⑪   | 3 ⑩   |
| 商品在庫過剰     | 2 ⑫   | 4 ⑩   | 3 ⑩   | 2 ⑪   | 2 ⑪   | 3 ⑩   |
| その他        | 5 ⑨   | 5 ⑧   | 5 ⑨   | 4 ⑨   | 3 ⑩   | 3 ⑩   |
| 金利負担増      | 2 ⑫   | 1 ⑬   | 2 ⑪   | 2 ⑫   | 2 ⑬   | 2 ⑬   |
| 海外企業との競争激化 | 1 ⑭   | 1 ⑬   | 1 ⑭   | 1 ⑭   | 1 ⑭   | 1 ⑭   |

注：丸付き数字は順位を示す

### ① 経営上の問題点

- ・ 「従業員対策」を挙げる企業が最も多く、次いで「他企業との競争激化」となっている。

### ② 問題点ごとの傾向

- ・ 11期連続「従業員対策」が1位となった。

### ③ 問題点ごとの比率が高い業種

- ・ 「従業員対策」では、「建設」、「その他製造」で比率が高くなっている。
- ・ 「他企業との競争激化」では、「サービス」で比率が高くなっている。
- ・ 「人件費上昇」では、「運輸通信」で比率が高くなっている。
- ・ 「原材料値上り」では、「食料品製造」で比率が高くなっている。
- ・ 「売上不振」では、「窯業土石」で比率が高くなっている。
- ・ 「設備能力不足」では、「金属機械器具」で比率が高くなっている。
- ・ 「為替相場」では、「その他製造」で比率が高くなっている。
- ・ 「製品価格低下」では、「サービス」で比率が高くなっている。
- ・ 「資金繰り悪化」では、「金属機械器具」で比率が高くなっている。
- ・ 「技術水準おくれ」では、「金属機械器具」で比率が高くなっている。
- ・ 「商品在庫過剰」では、「卸小売」で比率が高くなっている。
- ・ 「金利負担増」では、「サービス」で比率が高くなっている。
- ・ 「海外企業との競争激化」では、「金属機械器具」で比率が高くなっている。

## 7. 経営に関する調査結果

### (1) 個人消費

#### ① 現在の個人消費

|      |  | 現在の個人消費はどうか |             |      |           |             |      |           |             |      |
|------|--|-------------|-------------|------|-----------|-------------|------|-----------|-------------|------|
|      |  | 前回（18年3月）   |             |      | 今回（18年6月） |             |      | 前回比(ポイント) |             |      |
|      |  | 「良い」        | 「どちらとも言えない」 | 「悪い」 | 「良い」      | 「どちらとも言えない」 | 「悪い」 | 「良い」      | 「どちらとも言えない」 | 「悪い」 |
| 製造業  |  | 23%         | 59%         | 18%  | 28%       | 60%         | 12%  | +5        | +1          | ▲6   |
| 非製造業 |  | 30%         | 54%         | 16%  | 27%       | 55%         | 18%  | ▲3        | +1          | +2   |
| 全産業  |  | 28%         | 56%         | 16%  | 28%       | 56%         | 16%  | 0         | 0           | 0    |

- ・ 『現在の個人消費』について、今回調査では、全産業で「良い」と回答した企業が28%であるのに対し、「悪い」と回答した企業は16%となっている。これを前回調査との比較でみると、「良い」が28%で横這い、「悪い」が16%で横這いであり、『現在の個人消費』は前回調査時点から横這いとなっている。

#### ② 先行き3か月後の個人消費

|      |  | 先行き3か月後は<br>現在と比べてどうなるか |        |      |           |        |      |           |        |      |
|------|--|-------------------------|--------|------|-----------|--------|------|-----------|--------|------|
|      |  | 前回（18年3月）               |        |      | 今回（18年6月） |        |      | 前回比(ポイント) |        |      |
|      |  | 「好転」                    | 「変わらず」 | 「悪化」 | 「好転」      | 「変わらず」 | 「悪化」 | 「好転」      | 「変わらず」 | 「悪化」 |
| 製造業  |  | 25%                     | 67%    | 8%   | 26%       | 60%    | 14%  | +1        | ▲7     | +6   |
| 非製造業 |  | 21%                     | 67%    | 12%  | 21%       | 67%    | 12%  | 0         | 0      | 0    |
| 全産業  |  | 22%                     | 67%    | 11%  | 22%       | 66%    | 12%  | 0         | ▲1     | +1   |

- ・ 『先行き3か月後の個人消費』について、今回調査では、全産業で「好転」と回答した企業が22%であるのに対し、「悪化」と回答した企業は12%となっている。これを前回調査との比較でみると、「好転」するが22%で横這い、「悪化」するが11%から1ポイント増加しており、『先行き3か月後の個人消費』は前回調査時点より悪化している。

## 【参考資料 1】

### ■九州の主要経済指標（消費関係）

※ 出所：九州経済産業局、計数はいずれも対前年同月比

#### ① 大型小売店販売額

(単位：%)

|     |        | 18年1月 | 18年2月 | 18年3月 | 18年4月 |
|-----|--------|-------|-------|-------|-------|
| 全 店 | 大型小売店計 | ▲0.1  | 0.8   | 0.9   | 0.2   |
|     | 百貨店    | ▲1.1  | 0.0   | 1.2   | 2.3   |
|     | スーパー   | 0.4   | 1.2   | 0.7   | ▲0.8  |
| 既存店 | 大型小売店計 | ▲0.4  | 0.2   | 0.0   | ▲0.7  |
|     | 百貨店    | ▲1.1  | 0.0   | 1.2   | 2.3   |
|     | スーパー   | 0.0   | 0.3   | ▲0.7  | ▲2.1  |

4月の大型小売店販売額は、前年同月比0.2%の増加（3か月連続）となった。百貨店は同2.3%の増加（3か月連続）、スーパーは同▲0.8%の減少（13か月ぶり）となった。

これを既存店でみると、大型小売店計では、前年同月比▲0.7%の減少（3か月ぶり）となった。百貨店は同2.3%の増加（3か月連続）、スーパーは同▲2.1%の減少（2か月連続）となった。

#### ② 新車登録台数

(単位：%)

|      |      | 18年1月 | 18年2月 | 18年3月 | 18年4月 |
|------|------|-------|-------|-------|-------|
| 乗用車計 |      | 0.5   | ▲1.4  | ▲3.5  | 3.0   |
|      | 普通車  | ▲1.1  | ▲0.8  | 2.9   | 0.9   |
|      | 小型車  | ▲7.9  | ▲4.7  | ▲12.9 | ▲1.6  |
|      | 軽自動車 | 7.7   | 0.6   | ▲0.9  | 7.6   |

4月の乗用車新規登録・届出台数は、小型車が前年を下回ったものの、普通乗用車、軽自動車が前年を上回り、乗用車全体では前年同月比+3.0%と3か月ぶりの増加となった。

#### ③ 家電販売額

(単位：%)

|     |  | 18年1月 | 18年2月 | 18年3月 | 18年4月 |
|-----|--|-------|-------|-------|-------|
| 販売額 |  | 4.3   | 5.4   | ▲0.5  | ▲1.8  |

4月の家電販売額は、前年同月比▲1.8%と2か月連続の減少となった。

#### ④ 勤労者世帯家計調査

(単位：%)

|                |  | 18年1月 | 18年2月 | 18年3月 |
|----------------|--|-------|-------|-------|
| 消費支出(実質)       |  | 19.7  | 4.5   | 9.0   |
| 可処分所得(実質)      |  | 0.8   | ▲0.4  | ▲3.5  |
| 平均消費性向(季調値、全国) |  | 3.0   | ▲5.8  | ▲1.8  |

3月の消費支出(二人以上の世帯)は、30万6,235円で、前年同月比+9.0%と6か月連続の増加となった。

【参考資料 2】

■ 当行調査と他機関との比較推移表

景況感比較推移表

